

ワイヤパラメトロン

1962 年（昭和 37）、ワイヤパラメトロンと薄膜パラメトロンを開発した。56 年ころから真空蒸着による磁性薄膜の研究を開始したが、57 年に円筒型パーマロイ薄膜を用いてパラメトロンを構成し、その発振に成功した。また、電着法による磁性薄膜の製法を開発し、62 年に細い銅線に磁性薄膜をメッキしたワイヤパラメトロンの発振に成功した。翌 63 年には、このワイヤパラメトロンを用いて、ワイヤメモリを開発し、コンピュータの高速メモリとして実用化した。

出典：KDD 社史